

登別市事業仕分け調書

平成 21 年度作成

番号	2	事務事業名	戦没者追悼式関係経費
-----------	---	--------------	------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
------------	-------	--------------	--------

事務事業コード	69999001	事業開始年度	昭和 4 6 年度	事業終了予定年度	平成 - 年度
----------------	----------	---------------	-----------	-----------------	---------

関連事務事業名	
----------------	--

事務事業の実施根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等)	種別	5 市単独で実施している事務事業
	法令等名	
	法令等の内容	

実施方法	市が直接実施
	民間等へ業務委託または指定管理 (委託先:)
	補助金 (補助先:)

事務事業の目的と内容

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか。地域や年齢等が限定される場合は詳細に記入) 戦没者の遺族及び市民
事業の目的	(何のために事業を実施したのか。または何のために事業を実施しているのか) 国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて市が式典を実施し、本市出身の戦没者(289柱)の霊を慰め追悼し、平和を祈念する。
事業の内容	(事業の内容【手段・手法・活動など】) 市民会館大ホールに祭壇を置き、戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもとに式典を行なう。

事業費

区 分			単位	19年度 決算額	20年度 決算見込額	21年度 予算額
事業の財源内訳	国庫支出金	名称	千円			
	道支出金	名称	千円			
	その他	名称	千円			
	地方債		千円			
	一般財源		千円	507	496	496
合 計				507	496	496
上記事業を実施するために必要となる人件費(概算)	職 員	千円	565	559	567	
	嘱 託 員	千円	0	0	0	
	臨時職員	千円	0	0	0	
	合 計			565	559	567
総合計(合計 + 合計)			千円	1,072	1,055	1,063

事業費内訳	(21年度予算ベースの事業費の具体的な内訳【節名ごと】)	
	委託料	420,000円 (祭壇委託料(献花用の花代含む))
	使用料及び賃借料	76,000円 (参列者送迎用バス借り上げ料 2台分)

番号	2	事務事業名	戦没者追悼式関係経費
----	---	-------	------------

部名	保健福祉部	グループ名	社会福祉G
----	-------	-------	-------

活動実績

活動指標名 (事業のこれまでの実績【数量・回数・人員等】)	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込み)
参加者数	人	150	90	150

成果

事業の成果	(事務事業を実施したことでのどのような成果が得られたのか。現状の成果)
	戦没者の霊を慰め追悼し、併せて平和書道展やパネル展などを同時開催しており、平和を祈念する行事として成果は得られている。

担当部による評価

事業の自己評価	(事業の今後の方向性、課題等)
	戦没者遺族の高齢化が進んでおり、追悼式の参加者が年々減少傾向にあるが、戦争の悲惨さやむなしさを風化させることなく後世に伝え、平和に対する意識高揚のためにも継続して実施する必要がある。 参加者のうち戦没者遺族は、平成19年度に90名ほどであったが、平成20年度は、開催当日に大雨警報が出ており、悪天候の影響もあって40名ほどの参加となった。

他の自治体の状況

比較参考値	(他の自治体での類似事業の状況)
	国や北海道をはじめ、各市においてもそれぞれ何らかの形で実施している。 近隣市の状況 室蘭市では文化センターにおいて、また、伊達市ではカルチャーセンターにおいてそれぞれ祭壇を置き戦没者遺族はじめ関係者の参加のもと、毎年度8月に実施している。

特記事項

事業の沿革等	(事業の変遷)
	昭和46年に第1回の登別市戦没者追悼式が行われ、平成20年度が第38回目となった。 平成15年度からは、平和への誓いをあらたにする行事として一般市民の参加も呼びかけている。 また、追悼式にあわせて、小中学生の平和書道展を同時開催している。 平成16年度に参加者への供物(カステラ)の配付を廃止した。 平成17年度から献花時のBGMをクラシック音楽に変更した。 平成18年度に供花を廃止した。 平成19年度からは、平和都市宣言の朗読、平和パネル展、ビデオ上映の同時開催、来賓の範囲の見直しを行っている。